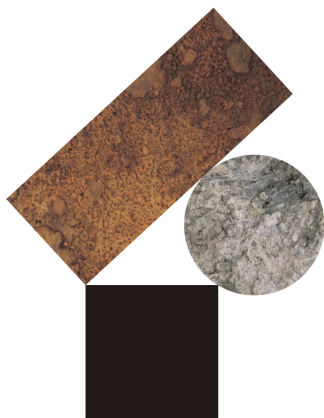


Methodology of Modern Sculpture in Japan

現代彫刻の方法

藤井 匡
Tadasu Fujii



橋本真之・多和田三・畑山典江・岩間 弘・留守 玲・高澤そよか・神代良明・飯島浩二・角文平・久保田弘成・橋 宣行・タムラサトル・林 武史・西 雅秋・岡本敦生・鷺見和紀郎・村井進吾・戸田裕介・寺田武弘・秋山 陽・前田哲明・金沢健一・眞板雅文・青木野枝・前川義春・丸山富之・植松奎二・土屋公雄・向井良吉・建畠覚造・國安孝昌・倉貫 徹……

野外彫刻を中心に、日本の現代彫刻を「方法」という視点から読み解く試み

美学出版

Methodology of Modern Sculpture in Japan

現代彫刻の方法

藤井 匡 [著]

■体 裁 四六判上製／174 頁

■定 価 本体 2000 円＋税

■発 行 美学出版

ISBN978-4-902078-36-7

1950年代以降、日本の彫刻家は素材や技法をどのように考え、制作を進めてきたのか。個々の作家によって、素材や技法の意味はどのように読み替えられていったのか。野外彫刻を中心に、日本の現代彫刻を「方法」という視点から読み解く試み。

[目 次]

まえがき

I 方法とは何か

「方法」を見るための条件 『方法の発露』展
鉄の彫刻は終わったのか 『IRON∞MAN』展
野外彫刻と御影石 日本・石の野外彫刻

II 技法との関係において

西 雅秋 消去する理由
岡本敦生 変容するものとしての石
鷺見和紀郎 鋳造から導かれる表面
村井進吾 現実の他者としての石
戸田裕介 意味を超えてあるもの
寺田武弘 手の跡を残す
秋山 陽 土はどこまで認識できるか
前田哲明 手が導く彫刻の空間
金沢健一 鉄の意志の在り処
眞板雅文 素材を求める理由
青木野枝 現象とみなされる鉄
前川義春 人為と自然の間で
丸山富之 石が生み出す作者
植松奎二 素材としての重力
土屋公雄 素材の語る言葉

III 個人史の展開において

向井良吉 作品の改作について
建畠覚造 作品の変遷について
國安孝昌 境界としての作品
倉貫 徹 呼び寄せられた思考と造形

あとがき

初出一覧

著者略歴

藤井 匡 Fujii Tadasu

1970 年山口県生まれ。九州大学文学部哲学科美学美術史研究室卒業。1995～2003 年に宇部市役所学芸員として『現代日本彫刻展』ほかの展覧会を担当。後にフリーランスとして、東京や大阪での展覧会や、広島県廿日市市、新潟県十日町市、広島県神石高原町、長崎県対馬市、愛知県北名古屋市、香川県多度津町などでのアート・プロジェクトに携わる。現在、東京造形大学准教授。

注 文 書

全国の主要書店にてお求めいただくか、直接小社にメール、FAX 等でお申し込みください。

現代彫刻の方法

藤井 匡 [著]

を 冊 申し込みます。

ご氏名

性別

男 ・ 女

ご住所（〒 - ）

お電話

FAX

E メール

*弊社から直接ご購入いただけます（入金確認後、直送。送料は当方負担）。

Fax およびメールにて、または HP からお申し込みください。

折り返しご入金方法等をご案内いたします。

美 学 出 版

〒164-0011 東京都中野区中央 2-4-2 第 2 豊明ビル 201

Tel. 03-5937-5466 Fax. 03-5937-5469

e-mail : info@bigaku-shuppan.jp http://www.bigaku-shuppan.jp